

令和3年度 大阪府立布施工科高等学校 第3回 学校運営協議会 議事録

参加委員：東崎様 川野様 阪上様 正木様 増本様 宮前様 (5名)

学校事務局参加者：校長 教頭 事務長 他(各分署長、各学年主任)(9名)

1 校長挨拶

2 運営協議議題

1) 令和3年度 学校経営計画及び学校評価について

- ・学習指導「わかる授業」79%(R2:65%)
- ・生徒指導「適切である」73%(R2:70%)
- ・キャリア教育「職業観・勤労観の育成」88%(R2:80%)
- ・いじめ「いじめ対応」85%(R2:55%)
- ・求人状況・進路状況：1次合格率93%(136名合格/147名希望) 進学率12.8%
- ・離職率：35.9%(3年前の卒業生)6.6%減
- ・クラブ加入率43.9%(R2:54.5%)
- ・公民連携等での情報提供

【委員よりの質疑応答】

- ・わかる授業で端末配布とあるが、インターネットはどのような状況？
⇒機器の貸し出しにより対応。
- ・教材は？
⇒授業によって違うが、PDFで課題を提示、フォームで提出。発問しスプレッドシートに書き込み共有するなど。
- ・授業もできる？
⇒黒板に書いたものをノートに写す授業も実施。様々な方法で実施した。
- ・いくら？
⇒貸出支給なので費用はわからない。教員が個人購入したものは4、5万くらい。
- ・キャリア教育において、インターンシップが中止となったが、工夫した点などは？
⇒全員実施で計画したが、途中で中止となった。参加した生徒が全体へ向けて発表し情報共有した。企業見学会、リモートでの説明会も実施。生徒へできる限り情報提供の場を設けている。
- ・就職・進学91%にあがっているが？
⇒進学対象者へ進学指導を定期的に指導+将来を見据えて就職指導もしている。
- ・チューター制度が生徒の満足度アップに影響していると考えられる。
⇒勉強だけでなく、懇談も交えながら、学校生活について話をしている。モチベートすることで効果があった。
- ・非常にいいようになっていると思う。全体的に数値があがっている。
- ・資格取得減少の理由は？合格者の公表はしている？

⇒資格取得に対する意欲が低迷。費用・時間の問題。補習の確保が困難。教えあうスタイルが実施できないことも関係しているかもしれない。ものづくりコンテストにおいては近畿大会出場。始業式、終業式など各式において伝達表彰し公表している。

2) 令和4年度 学校経営計画について

- ・デュアルシステム教育による現場スキルや豊かな教養を身につけ、グローバル社会で役割を担い、社会人として判断力・行動力のある逞しいエンジニアを育成する。
- ・基礎学力向上の取組み強化:1 学年での「学び直し」に個別学習教材を導入しレベルアップを図る。
- ・授業力向上:公開授業週間 年2 回以上の実施。オンライン学習授業の共有化、観点別学習・授業内容の改善向上を図る。
- ・キャリア教育拡充:DX 機器の操作方法や活用を通して実社会に役立つ知識技能の習得を図る。
- ・企業/業界団体等との連携強化:デュアルシステム開始に向け、プレデュアルに取り組み協力企業の拡大を図る。
- ・働き方改革の推進:組織体制の革新を図る。

【委員よりの質疑応答】

- ・デュアルシステム教育とあるが、豊かな教養、社会生活、安全などの指導はどのように？

⇒基礎学力、教養を身につければ、人との関わりも深められる。

- ・入試倍率は増えてはきている？

⇒工科高校全体で定員が割れている状況。工科高校を第一志望とする中学生を増やせていない現状がある。

- ・デュアルシステムをアピールしていくよう

- ・遅刻してきた生徒への指導は？

⇒スタンプラリーによる説諭。遅刻を重ねる生徒へは、早朝登校指導や放課後に指導している。

- ・DX とあるが、中身は広い。就職先で勉強したことが発揮できないこともある。デュアルで企業と連携しながら学習内容を精査する必要がある。

⇒五軸のマシニングセンター、ネットワークの強化、3D モデリングマシン、3D プリンター、ロボットの制御システムなどが導入される。実習室の改善も予定している。企業と連携して取り組んでいく。

3 報告事項

1)令和3年度 各分掌・各系・学年 の取組みについての報告

- ・各系での課題研究の取組み 等

2)その他

- ・工科改変・新カリキュラムについて

4 その他